

中学校給食 **今年度** スタート

* 5月1日から

栄養バランスに配慮 / 食育を推進



給食を食べる生徒たち
(男山第三中学校)

給食をよそう給食
当番の生徒たち

5月1日、中学校給食が市内各中学校で始まりました。中学校給食は、心身の成長が著しい中学生に栄養バランスのとれた安全な厚食を提供するとともに、食育を推進することを目的に今年度から実施。給食は市内小学校の調理場で作られ、中学校に配送される「親子方式」を採用しています。



この日の献立は、カレーライス、キャベツとコーンのソテー、牛乳、フルーツポンチ。給食は保温・保冷効果のある食缶に入れて食器とともに配送車で届けられ、給食当番の生徒たちが各教室に運んで準備。各生徒の机に給食がそろつと、生徒たちは小学校以来となる給食を懐かしみながら味わっていました。

男山第三中学校3年の脇田楓子さん(14)は「給食は小学校以来だったので、懐かしかったし、おいしかったです。これから食べたことのない献立に出会えるのも楽しみです」と笑顔で話していました。

水難事故 救助技術向上へ訓練

消防、警察連携を強化

夏季に増加が予想される水難事故に備えようと5月15日～18日の4日間、消防本部が宇治川御幸橋付近で水難救助訓練を行いました。

この訓練は、水難事故現場における救助活動および救命索発射銃操作などの技術の向上を図ることを目的に、毎年、実施しています。

消防署員たちは、水上で救助ボートの操作訓練を行った後、上流から流れてく

る水難者に見立てた人形を、ボートを走らせて救助。陸上からは、遠方の水難者に向けて空気式救命索発射銃で救命浮輪を発射するなど、状況に応じた救助方法を確認しました。また最終日には、八幡警察署との合同訓練も実施。「宇治川で人が流されている」との通報を受けたと想定し、消防署員は救助ボートで水上から、警察署員はヘリコプターで上空から捜索し、水難者を発見・救助するなど、水難事故発生時における連携も深めました。



水難者に見立てた人形を救助する隊員たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

来場者が作った俳句を解説する夏井さん



俳人 夏井いつきさん 講演

5月21日、生涯学習開講式記念講演会が生徒学習センターで開催され、俳人の夏井いつきさんが「俳句を知れば世界が変わる」をテーマに、会場を埋め尽くした来場者268人に向けて講演しました。

1日5分、1句作ることが、認知症予防などにもつながる俳句。作るのに自信がなさそうな来場者たちに対して、「自分がしゃべっていることはすべて『俳句の種』になる」と話す夏井さん。俳句を作るポイントに、「季語に引っ張られないようにするために、12音の『俳句の種』を先に考える」「『俳句の種』に季語っぽいものは入れない」の2つを挙げていました。

講師には 歯科衛生士の宮城千加さんを招きました。

はじめに、講師がスライドを使って虫歯になってしまう食生活などを説明。虫歯を予防するためには、「おやつを食べすぎない」「就寝前に歯磨きをする」などが大切だと話しました。

その後、園児たちが歯磨きに挑戦。歯ブラシの柄をえんぴつ持ちや、手のひら全体で握るように持ち、前歯や奥歯、歯の裏側をシャカシャカと丁寧に磨いていました。

また、5歳児は初期に生える大人の歯である第1大臼歯の磨き方も教わるなど、正しい歯磨きの仕方をしっかりと学んでいました。

正しい歯磨き学んだよ

おやつ控えて虫歯予防 寝る前に忘れず磨く

歯科衛生士が園児指導

5月15日、八幡第四幼稚園で歯磨き指導が行われ、3～5歳児55人が正しい歯磨きの仕方などを学びました。

この指導は、園児たちに虫歯にならない食生活や、正しい歯磨きの仕方などを学んでもらい、歯を健康に保ってもらおうと実施。



歯ブラシで歯を磨く園児たち